

『高校改革～夢に挑戦する学び～再編・整備計画』における
「再編に関する基準等」の再検討に係る意見交換会

第1回 参考資料

令和7年2月13日（木）

長野県教育委員会
高校教育課高校再編推進室

『高校改革 ～夢に挑戦する学び～ 再編・整備計画』
策定に至る経緯と再編に関する基準等について

高校再編推進室

平成 29 年（2017 年）3 月	「 学びの改革 基本構想 」を策定・公表 旧第 12 通学区ごとの地域懇談会、意見交換会、パブリックコメント等
平成 30 年（2018 年）9 月	「 高校改革～夢に挑戦する学び～ 実施方針 」を策定・公表 ※この中で、「 都市部存立校 」と「 中山間地存立校 」について、「 再編に関する基準等 」について示し、 <u>全県の「再編・整備計画」が策定された後の 2021 年度から適用を開始すると明記</u>
「 高校の将来像を考える地域の協議会 」を旧第 12 通学区ごとに設置していただき、 各旧通学区における高校の将来像について意見・提案書を策定、県教育委員会に提出	



令和 2 年（2020 年）3 月	旧第 1、6、8、9 通学区ごとの協議会の意見・提案書をもとに再編・整備計画【一次】（案）として示し、住民説明会を実施
9 月	再編・整備計画【一次】 旧第 1、6、8、9 通学区の再編・整備計画を決定
令和 3 年（2021 年）3 月	旧第 2、5、8、10 通学区ごとの協議会の意見・提案書をもとに再編・整備計画【二次】（案）として示し、住民説明会を実施
9 月	再編・整備計画【二次】 旧第 2、5、8（未確定分）、10 通学区の再編・整備計画を決定
令和 4 年（2022 年）5 月	旧第 3、4、7、11、12 通学区ごとの協議会の意見・提案書をもとに再編・整備計画【三次】（案）として示し、住民説明会を実施
令和 5 年（2023 年）1 月	再編・整備計画【三次】 旧第 3、4、7、11、12 通学区、定時制・通信制の再編・整備計画を決定

再編・整備計画【三次】の中で、「再編に関する基準等について」令和 5 年度を初年度として適用すると明記

1 「都市部存立校」と「中山間地存立校」について

2022年(令和4年)5月1日現在

通学区	旧12通学区	都市部存立校		中山間地存立校
		都市部存立普通校	都市部存立専門校	
1	1			飯山 下高井農林
	2	中野立志館 中野西 須坂東 須坂	須坂創成	
	3	長野吉田 長野野 長野西 長野東	長野商業 長野工業	北部
	4	長野南 篠ノ井 屋代南 屋代南	更級農業 松代	坂城
2	5	上田 上田染谷丘 上田東	上田千曲	丸子修学館
	6	小諸 岩村田 野沢北 野沢南	小諸商業 佐久平総合技術	蓼科 軽井沢 小海
3	7	諏訪清陵 諏訪二葉 下諏訪向陽 岡谷東 岡谷南	諏訪実業 岡谷工業	富士見 茅野
	8	伊那北 伊那弥生ヶ丘 赤穂	上伊那農業 駒ヶ根工業	辰野 高遠
	9	飯田 飯田風越	飯田OIDE長姫 下伊那農業	松川 阿智南 阿南
4	10			蘇南 木曾青峰
	11	塩尻志学館 田川 松本県ヶ丘 松本美須々ヶ丘 松本深志 松本蟻ヶ崎 豊科	松本工業 南安曇農業 穂高商業	梓川 明科
	12			池田工業 大町岳陽 白馬

注) 「都市部存立校」と「中山間地存立校」の考え方は、全日制高等学校を対象としており、多部制・単位制及び定時制高等学校は含まれていない。

2 再編に関する基準等について

1 「都市部存立普通校」の基準について

- 募集定員 240 人以上が望ましく、さらに規模の大きさを活かせる募集定員 320 人規模の学校の設置も目指す。
- 規模が縮小し、在籍生徒数が 520 人以下の状態が 2 年連続した場合には、再編対象として、①他校との統合（新たな高校をつくる）、②募集停止のいずれかの方策をとる。

2 「都市部存立専門校」の基準について

- 募集定員 120 人以上が望ましい。
- 規模が縮小し、在籍生徒数が 280 人以下の状態が 2 年連続した場合には、再編対象として、①他校との統合（新たな高校をつくる）、②募集停止のいずれかの方策をとる。

3 「中山間地存立校」の基準について

- 募集定員 120 人以上が望ましい。
- 在籍生徒数が 120 人以下の状態、もしくは、在籍生徒数が 160 人以下かつ卒業生の半数以上が当該高校へ入学している中学校がない状態が 2 年連続した場合には、再編対象として、①他校との統合（新たな高校をつくる）、②地域キャンパス化（分校化）、③「中山間地存立特定校」の指定、④募集停止のいずれかの方策をとる。

4 「中山間地存立特定校」の基準について

- 地域との協働を「中山間地存立校」を適用した学校よりもさらに強化することにより、募集定員 40 人でも単独で高校を存続させる道を探る。
- 次の条件をすべて満たす高校は「中山間地存立校」の基準に該当した場合であっても、その例外として「中山間地存立特定校」としての指定を検討する。
 - (ア) 県境に近い地域で、近隣の高校と著しく離れている。
 - (イ) 教育機会の確保の観点から高校の存続の必要性が高いと判断できる。
 - (ウ) 所在する市町村等、地域からの支援を得ながら、高校を単独で存続する体制を整備できる。

5 「地域キャンパス」及び「中山間地存立特定校」がより小規模になった場合について

- 在籍生徒数が 60 人以下の状態が 2 年連続した場合には、募集停止を検討する。ただし、卒業生の半数以上が当該高校へ入学している中学校がある場合や、将来、入学者の増加が予測される場合は慎重に扱う。なお、在籍生徒数は、地域キャンパス化から 3 年が経過、もしくは「中山間地存立特定校」の指定から 3 年が経過した時点以降の生徒数とする。

注 1) 再編に関する基準等については、令和 5 年度を初年度として適用する。

注 2) この基準の「在籍生徒数」は、学校基本調査に基づく 5 月 1 日現在の数とする。

現在進行中の再編・整備計画

高校再編推進室

◆再編・整備計画の概要 ※新校名は全て仮称

【一次】

○将来的に学校規模の縮小や再編基準への該当等により2校の存続が困難になった場合は、下高井農林高校を飯山高校の地域キャンパスとする。

○小諸新校

小諸商業高校と小諸高校を再編統合

○佐久新校

野沢北高校と野沢南高校を再編統合

○伊那新校

伊那北高校と伊那弥生ヶ丘高校を再編統合

【二次】

○中野総合学科新校

中野立志館高校と中野西高校を再編統合

○須坂新校

須坂東高校と須坂創成高校を再編統合

○上伊那総合技術新校

辰野高校の商業科、箕輪進修高校の工業科、上伊那農業高校、駒ヶ根工業高校を再編統合

○赤穂総合学科新校

赤穂高校を総合学科高校に転換

【三次】

○長野東スーパーフレックス新校

長野東高校、長野吉田高校の戸隠分校定時制、長野高校の定時制、長野商業高校の定時制、長野西高校の通信制を再編統合

○長野千曲総合技術新校

更級農業高校、松代高校の商業科、屋代南高校を再編統合

○岡谷新校

岡谷東高校と岡谷南高校を再編統合

○岡谷諏訪総合技術新校

岡谷工業高校と諏訪実業高校を再編統合

○茅野富士見新校

茅野高校と富士見高校を再編統合

○塩尻総合学科新校

塩尻志学館高校と田川高校を再編統合

○安曇野総合技術新校

南安曇農業高校、穂高商業高校、池田工業高校を再編統合

○全県の定時制・通信制課程の配置

令和 6 年 3 月 26 日

『高校改革 ～夢に挑戦する学び～ 再編・整備計画』における
「再編に関する基準等」の再検討について

高校再編推進室

令和 5 年度を初年度として適用することとしている「再編に関する基準等」について再検討することとする。このことに伴い、令和 6 年度以降、本基準の適用を一定期間留保する。

「再編に関する基準等」策定の考え方

- ・平成 29 年策定の「学びの改革 基本構想」では、「中山間地が多く、県土が広い本県の地理的特性を考え、市街地にも中山間地にも高校が存立し、それぞれの高校の特徴を活かして『新たな社会を創造する力』を育むことが望ましいと考える」とした
- ・その上で、このような立地の特性を活かした高校づくりを進めるために、「都市部存立校」は一定の規模が維持できるように、また「中山間地存立校」は可能な限り存続できるように、都市部と中山間地で異なる基準を設けることとした

提案に至った理由

- ・ICTの活用による遠隔授業や合同授業など、学び方が多様になってきていること
- ・想定を上回る少子化の進行や通信制高校を選択する生徒の増加等により、中学校卒業生総数に占める公立全日制高校進学者の割合が減少傾向にあること
- ・これらの状況から、再編基準をそのまま継続して適用していくことの妥当性に対して県教育委員会として課題意識を持つに至ったこと
- ・今年度 5 回にわたり開催した「特色ある県立高校づくり懇談会」の場において、構成員から、「一学校主義を超え、例えば県境校や小規模校ではオンラインを活用するなどしてネットワーク化を図るのはどうか」、「想定以上に進んでいる少子化の中で、現行の再編基準がこの形で本当にいいのか検討する余地があるのではないか」等の意見が出されたこと
- ・県議会においても、再編基準の見直しや今後の高校のあり方などの検討を求める意見が出されたこと

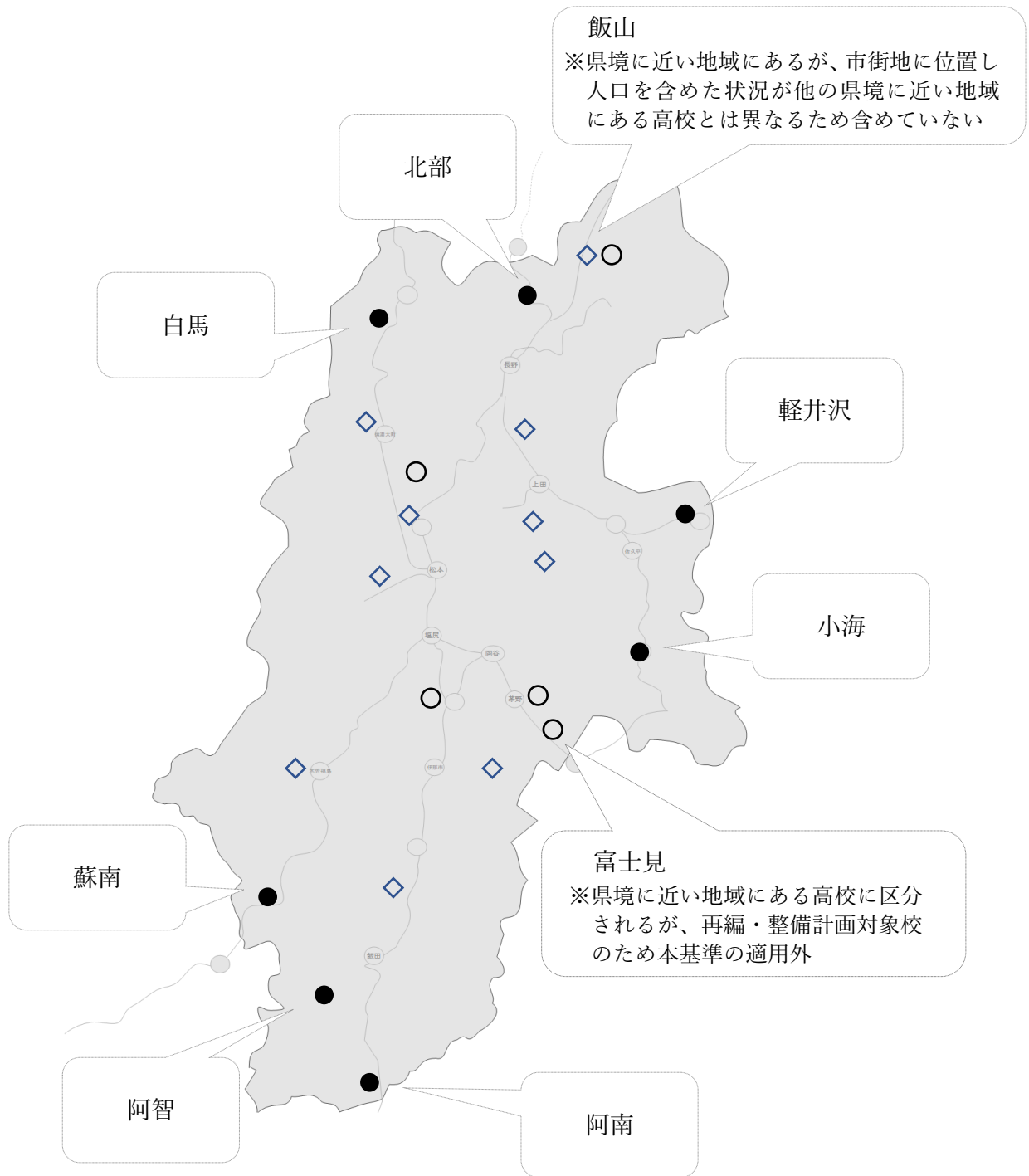
考えられる論点

- ・現行の再編整備計画で示した望ましい学校規模
- ・再編基準に該当した場合の選択肢
- ・現行の再編整備計画との整合性 など

今後の進め方

- ・検討の場の設置を含めて検討

中山間地存立校の配置図



- 再編・整備計画対象校
- 県境に近い地域にある高校
- ◇ 県境に近い地域にない高校

2024年度(令和6年度) 公立高等学校全日制の学級数及び在籍生徒数

旧通 学区	学校名	学級数			在籍 生徒数
		1年	2年	3年	
1区	飯山	5	5	5	495
	下高井農林	2	2	2	160
2区	中野立志館	5	5	5	540
	中野西	5	5	5	533
	須坂創成	7	7	7	827
	須坂東	3	4	4	332
	須坂	6	6	6	714
3区	北部	2	2	2	155
	長野吉田	6	6	6	709
	長野	7	7	7	834
	長野西	6	6	6	716
	長野商業	5	5	5	594
	長野東	5	5	5	593
	長野工業	6	6	6	685
	長野西中条校	1	1	1	69
	篠ノ井犀峡校	1	1	1	16
長野市立長野	4	4	4	467	
4区	長野南	5	5	5	575
	篠ノ井	6	6	6	715
	更級農業	4	4	4	421
	松代	3	3	4	279
	屋代	7	7	7	826
	屋代南	3	3	3	303
	坂城	2	2	2	172
5区	上田千曲	6	6	6	697
	上田	8	8	8	956
	上田染谷丘	7	7	7	847
	上田東	7	7	7	823
	丸子修学館	5	6	6	607
	東御清翔	-	-	-	
6区	蓼科	2	2	2	159
	小諸商業	3	4	4	349
	小諸	4	5	5	447
	軽井沢	2	2	2	186
	佐久平総合技術	7	7	7	710
	岩村田	5	5	5	604
	野沢北	5	5	5	594
	野沢南	4	5	5	550
	小海	2	2	2	133

旧通 学区	学校名	学級数			在籍 生徒数
		1年	2年	3年	
7区	富士見	2	2	2	216
	茅野	2	2	2	162
	諏訪実業	3	4	4	359
	諏訪清陵	6	6	6	709
	諏訪二葉	6	6	6	712
	下諏訪向陽	5	4	5	493
	岡谷東	3	3	3	351
	岡谷南	5	5	5	581
	岡谷工業	5	5	5	451
	8区	辰野	3	3	3
箕輪進修		-	-	-	
上伊那農業		4	4	4	478
高遠		2	3	3	280
伊那北		6	6	6	713
伊那弥生ヶ丘		5	5	6	623
赤穂		5	5	5	589
駒ヶ根工業		3	3	3	327
9区	松川	2	3	3	292
	飯田	6	6	6	720
	飯田風越	5	5	5	595
	飯田OIDE長姫	7	7	7	816
	下伊那農業	4	4	4	458
	阿智	2	2	2	225
	阿南	2	2	2	133
	10区	蘇南	2	2	2
木曾青峰		4	4	4	297
11区	塩尻志学館	5	5	5	589
	田川	5	5	5	539
	梓川	3	3	3	297
	松本工業	5	5	5	532
	松本県ヶ丘	8	8	8	970
	松本美須々ヶ丘	7	7	7	832
	松本深志	8	8	8	959
	松本蟻ヶ崎	7	7	7	839
	松本筑摩	-	-	-	
	明科	3	3	3	228
	豊科	5	5	5	596
	南安曇農業	3	3	3	340
穂高商業	3	3	3	297	
12区	池田工業	2	2	2	166
	大町岳陽	5	5	5	580
	白馬	2	2	2	141

※2024年(令和6年)5月1日現在

～令和6年度 長野県高等学校要覧より～

通学区別生徒数の推移 (令和6年5月1日現在)

高校入学年度	中3 中2 中1 小6 小5 小4 小3 小2 小1																
	H29年 (2017)	30年 (2018)	R元年 (2019)	2年 (2020)	3年 (2021)	4年 (2022)	5年 (2023)	6年 (2024)	7年 (2025)	8年 (2026)	9年 (2027)	10年 (2028)	11年 (2029)	12年 (2030)	13年 (2031)	14年 (2032)	15年 (2033)
1区	320	265	255	265	250	256	233	234	168	216	214	186	201	208	190	179	174
生徒増減	30	-55	-10	10	-15	6	-23	1	-66	48	-2	-28	15	7	-18	-11	-5
2区	1,290	1,188	1,165	1,059	1,031	1,084	1,084	1,034	998	985	990	984	998	976	925	884	875
生徒増減	52	-102	-23	-106	-28	53	0	-50	-36	-13	5	-6	14	-22	-51	-41	-9
3区	2,686	2,754	2,582	2,567	2,378	2,459	2,461	2,413	2,335	2,388	2,228	2,126	2,012	2,039	1,955	1,958	1,902
生徒増減	-57	68	-172	-15	-189	81	2	-48	-78	53	-160	-102	-114	27	-84	3	-56
4区	1,990	1,962	1,986	1,883	1,841	1,875	1,839	1,810	1,713	1,671	1,736	1,657	1,588	1,687	1,625	1,470	1,472
生徒増減	-28	-28	24	-103	-42	34	-36	-29	-97	-42	65	-79	-69	99	-62	-155	2
5区	1,938	1,829	1,799	1,826	1,742	1,711	1,709	1,675	1,585	1,617	1,605	1,601	1,573	1,575	1,527	1,383	1,408
生徒増減	115	-109	-30	27	-84	-31	-2	-34	-90	32	-12	-4	-28	2	-48	-144	25
6区	2,047	1,966	1,949	1,874	1,799	1,887	1,825	1,813	1,787	1,859	1,762	1,755	1,821	1,720	1,719	1,663	1,719
生徒増減	18	-81	-17	-75	-75	88	-62	-12	-26	72	-97	-7	66	-101	-1	-56	56
7区	1,912	1,940	1,773	1,770	1,771	1,788	1,698	1,738	1,616	1,594	1,574	1,576	1,514	1,475	1,475	1,398	1,361
生徒増減	56	28	-167	-3	1	17	-90	40	-122	-22	-20	2	-62	-39	0	-77	-37
8区	1,856	1,816	1,823	1,728	1,704	1,764	1,728	1,634	1,686	1,546	1,567	1,545	1,538	1,567	1,491	1,474	1,373
生徒増減	-6	-40	7	-95	-24	60	-36	-94	52	-140	21	-22	-7	29	-76	-17	-101
9区	1,715	1,606	1,555	1,560	1,480	1,465	1,530	1,428	1,368	1,433	1,407	1,360	1,353	1,259	1,252	1,180	1,164
生徒増減	68	-109	-51	5	-80	-15	65	-102	-60	65	-26	-47	-7	-94	-7	-72	-16
10区	210	214	203	213	207	190	186	166	190	186	166	156	158	151	141	132	105
生徒増減	-26	4	-11	10	-6	-17	-4	-20	24	-4	-20	-10	2	-7	-10	-9	-27
11区	4,226	4,139	4,007	3,854	3,911	3,911	3,895	3,895	3,694	3,678	3,649	3,538	3,488	3,525	3,459	3,382	3,187
生徒増減	-101	-87	-132	-153	57	0	-16	0	-201	-16	-29	-111	-50	37	-66	-77	-195
12区	564	560	533	479	448	440	462	426	420	414	418	395	371	415	389	334	327
生徒増減	40	-4	-27	-54	-31	-8	22	-36	-6	-6	4	-23	-24	44	-26	-55	-7
全県合計	20,754	20,239	19,630	19,078	18,562	18,830	18,650	18,266	17,560	17,587	17,316	16,879	16,615	16,597	16,148	15,437	15,067
生徒増減	161	-515	-609	-552	-516	268	-180	-384	-706	27	-271	-437	-264	-18	-449	-711	-370

(注) 令和6年度学校基本調査による数。

松本秀峰中等教育学校の生徒数(中1~中3:11区)、県立屋代附属中(中1~中3:4区)、同諏訪清陵附属中(中1~中3:7区)、市立長野中(中1~中3:3区)の生徒数を含む。